

授業改善推進プラン

【教科ごとの取り組み】

○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
国語	<p>○生徒の興味・関心をひく授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の場を設定するだけでなく、意見の交流を多く行い、全員が授業に参加できるようにする。 ・授業の導入を工夫し、単元に関係なく興味・関心を高められるようにする。 <p>○作文を書く機会を多く設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い作文を書く機会も多く設け、800字以上の作文にも取り組めるよう繋がる指導を行う。 ・漢字テストを毎時間行い、既習漢字の定着を図る。また、板書でも漢字を多く用い、作文を添削する際には誤字に注意をして、実用的な指導を行う。 ・分からない字は辞書で調べる習慣を身に付けさせる。 	<p>○生徒の興味・関心をひく授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の場を設定するだけでなく、意見の交流を多く行い、全員が授業に参加できるようにする。 ・授業の導入を工夫し、単元に関係なく興味・関心を高められるようにする。 <p>○書く能力・知識理解を高める指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文を書く機会を設け、細やかな添削を行い返却する。また、書いた作文を読み合う交流や、自身でも推敲を行わせ、改善につながる指導を行う。 ・漢字や熟語など、知識を習得させる指導を行う。授業中でも多様な言い換えを行い、知識量の向上を図る。 	<p>○生徒の興味・関心をひく授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の場を設定するだけでなく、意見の交流を多く行い、全員が授業に参加できるようにする。 ・授業の導入を工夫し、単元に関係なく興味・関心を高められるようにする。 <p>○テーマに沿った課題作文を様々な文字数の設定で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で単元後に書く作文にも、具体的なテーマを設定し、課題作文に慣れるようにする。 ・原稿用紙に書く前に、いくつか項目を設け、課題に沿った考えを構築する指導を行う。 <p>○話し合い活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なテーマで話し合う練習を行う。授業内でも意見交流の場を多く設ける。
社会	<p>○資料活用の技能の伸長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単一資料の読み取り方法を確認し、その内容を記述することを繰り返すことで、資料の見方を身に付け、基礎的スキルを養う。その上で、複数の資料から読み取った内容を記述できるようにして、その技能を伸長させる。 <p>○基礎学力の定着と振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の定着を図るため、繰り返し学習した成果を確認する小テスト等を実施する。 ・授業内で何が分かり、何ができるようになり、それが自分や社会とどうつながっているかを整理し、明らかにできるような振り返り課題を設定する。 	<p>○苦手分野の復習と基礎的な知識・技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新単元での既習事項の復習としての世界の地域構成の学習を再度重点的に行う。 ・活用する場面では、それに対応したワークシートでの学習が効果をあげている。基礎的な知識・技能の習得については、それに対応したワークシートの構成と運用を見直し、繰り返しの中で、定着を図る。 <p>○基礎学力の定着と振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の定着を図るため、繰り返し学習した成果を確認する小テスト等を実施する。 ・授業内で何が分かり、何ができるようになり、それが自分や社会とどうつながっているかを整理し、明らかにできるような振り返り課題を設定する。 	<p>○地理的分野の復習と基礎的な知識・技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年時に学習した地理的分野の定着が不十分なので、入試対策と合わせて重点的に復習をする。 ・活用する場面では、それに対応したワークシートでの学習が効果をあげている。基礎的な知識・技能の習得については、それに対応したワークシートの構成と運用を見直し、繰り返しの中で、定着を図る。 <p>○基礎学力の定着と振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の定着を図るため、繰り返し学習した成果を確認する小テスト等を実施する。 ・授業内で何が分かり、何ができるようになり、それが自分や社会とどうつながっているかを整理し、明らかにできるような振り返り課題を設定する。
数学	<p>○生徒の興味・関心を高めるための活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元に応じて生徒が、教具やICT機器を操作する場面を増やす。 ・個々の習熟度に応じた課題を用意する。 <p>○計算力を高める指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、問題演習の時間を設ける。 ・単元ごとに基礎学力テストを実施し、結果を踏まえて、個別に指導をしていく。 	<p>○生徒の興味・関心を高めるための活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元に応じて生徒が、教具やICT機器を操作する場面を増やす。 ・個々の習熟度に応じた課題を用意する。 <p>○個に応じた指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算の定着が十分ではない生徒は、計算練習を中心に行わせる。 ・数学的な見方・考え方が不十分な生徒は、個々の生徒の学習状況に合わせた助言を与えながら、問題に取り組ませていく。 	<p>○生徒の興味・関心を高めるための活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元に応じて生徒が、教具やICT機器を操作する場面を増やす。 ・個々の習熟度に応じた課題を用意する。 <p>○個に応じた指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算の定着が十分ではない生徒は、既習内容を振り返らせながら、計算練習を中心に行わせる。 ・発展的な学習に取り組むことができる生徒には、様々な高校の入試問題に取り組ませていく。
理科	<p>○観察・実験の機会を増やし、日常生活と関連付けること等の生徒の興味・関心を高める内容の工夫を心掛ける。観察・実験で器具の使い方に慣れることや定量的な理解のために丁寧に指導する。主に物理や化学においては、理解することを重点とした授業を心がける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に生徒と教師の間で発問を行い、小テスト等の問題演習で基礎的な内容の理解を確認する。 ・定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容やキーワードの確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 ・定量的な学習内容の理解のため、単位の説明や計算方法の理解のために演習を行う。 ・レポートの考察に結果からわかったことを具体的に記述することを指導する。 ・ICTを活用し、社会とのつながりを意識した内容や思考する内容を積極的に実施する。 	<p>○観察・実験の機会を増やし、日常生活と関連付けること等の生徒の興味・関心を高める内容の工夫を心掛ける。特に物理と地学において、基礎的な内容の定着に重点を置いた授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内での発問や復習による反復練習を行い、小テスト等の問題演習で間違い直しに重点を置き、基本的な内容の理解の定着を心掛ける。 ・定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容やキーワードの確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 ・観察・実験の結果の考察で考える機会を増やし、考察に具体的に記述することを指導する。 ・物理・化学では器具の使い方や定量的な学習内容について演習を通して丁寧に指導し、基礎力を育むように取り組む。 ・ICTを活用し、社会とのつながりを意識した内容や思考する内容を積極的に実施する。 	<p>○授業中に発言や質問する機会を増やし、観察・実験や問題演習で考える機会を増やしている。生物では、生活と関連付けて、興味・関心を高める授業を試みている。観察・実験の機会を増やし、生徒の興味・関心を高めるための教材の工夫等を心掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集を活用し、1・2年の基礎的な内容を確認する。生徒と教師の間の質問を積極的に行い、小テスト等の問題演習で理解について確認する。 ・定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容やキーワードの確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 ・ICTを活用し、社会とのつながりを意識した内容や思考する内容を積極的に実施する。

○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
音楽	<p>○生徒の理解度を細かく評価しながら授業を進める。 ・題材に出てくる既習の基礎的な知識（音楽の諸要素・用語・記号・音符や休符等）を、学習の前に小テストやフラッシュカードを用いて復習する。</p> <p>○繰り返し読んだり書いたりする回数を増やし、定着させる。 ・帯活動として音楽記号や音符に関するドリルを行い、確実な知識の定着を図る。</p>	<p>○生徒の理解度を細かく評価しながら授業を進める。 ・題材に出てくる既習の基礎的な知識（音楽の諸要素・用語・記号・音符や休符等）を、学習の前に小テストやフラッシュカードを用いて復習する。</p> <p>○視覚化することで、言葉を選びながら鑑賞できるようにする。 ・曲想を表す言葉や、音楽の諸要素の一覧を提示し、苦手な生徒はそこから選択しながら学習に取り組めるようにする。</p>	<p>○生徒の理解度を細かく評価しながら授業を進める。 ・題材に出てくる既習の基礎的な知識（音楽の諸要素・用語・記号・音符や休符等）を、学習の前に小テストやフラッシュカードを用いて復習する。</p> <p>○繰り返し読んだり書いたりする回数を増やし、定着させる。 ・帯活動として音楽記号や音符に関するドリルを行い、確実な知識の定着を図る。</p>
美術	<p>○題材に関連する既習事項を振り返る学習活動を行い、本時で生徒のもつ知識を関連付けしやすい環境を設定する。 ・授業の始めに、題材に関連する既習事項の確認を行い、生徒の身近な題材から学習を広げる。</p> <p>○小学校で学習した知識を、関連する題材で再確認し共通理解を図る。 ・題材の第1時に、関連する既習事項について必ず振り返り、再確認する。</p>	<p>○参考作品や資料を充実させる。アイデアを交流する機会を設定する。 ・視覚的な資料を充実させ、導入を丁寧に行う。 ・中間鑑賞会を設定し、生徒同士が考えや思いを交流する機会を設ける。</p> <p>○多様な視点から鑑賞学習を行う。 ・生徒同士の作品鑑賞に加えて、参考作品の鑑賞・世界の著名な作品の鑑賞を行うことで、感じたことを表現しやすい学習活動を適宜行う。</p>	<p>○既習事項に関連する題材で再確認し、共通理解を図る。 ・題材の第1時に、関連する既習事項について必ず振り返り、再確認する。 ○多様な視点から発想を充実させるための鑑賞学習を充実させる。 ・生徒の身近な環境や関心のある物・場所などを鑑賞学習に関連させる。 ○制作の見直しをもてる指導を行う。 ・他校の生徒の作品を鑑賞し、発想・構想を行う授業では、教科書に記載される「みんなの工夫」を重点的に取り上げる。</p>
保健体育	<p>○目標、振り返り、評価の充実 ・目標を明確にするために、ホワイトボードに目標を明記する。また、学習プリント等で振り返りを充実、個人内評価、相互評価の枠も増やす。</p> <p>○個人トレーニングについて、自分の課題を理解させ、課題解決につながるトレーニングができるようにする。 ・調べ学習を行い、自己理解を深める。 ・授業の際に計画的に動きを撮影し、生徒同士がアドバイスできるようにする。 ・体育理論、保健の授業とも関連付けて、体力向上についての意義を高める。</p>	<p>○目標、振り返り、評価の充実 ・目標を明確にするために、ホワイトボードに目標を明記する。また、学習プリント等で振り返りを充実、個人内評価、相互評価の枠も増やす。</p> <p>○個人トレーニングについて、自分の課題を理解させ、課題解決につながるトレーニングができるようにする。 ・調べ学習を行い、自己理解を深める。 ・授業の際に計画的に動きを撮影し、生徒同士がアドバイスできるようにする。 ・体育理論、保健の授業とも関連付けて、体力向上についての意義を高める。</p>	<p>○目標、振り返り、評価の充実 ・目標を明確にするために、ホワイトボードに目標を明記する。また、学習プリント等で振り返りを充実、個人内評価、相互評価の枠も増やす。</p> <p>○個人トレーニングについて、自分の課題を理解させ、課題解決につながるトレーニングができるようにする。 ・調べ学習を行い、自己理解を深める。 ・授業の際に計画的に動きを撮影し、生徒同士がアドバイスできるようにする。 ・体育理論、保健の授業とも関連付けて、体力向上についての意義を高める。</p>
技術	<p>○生徒の興味関心を高めるための活動を実施する。 ・ICT機器をさらに活用してより具体的な資料の提示を行い、興味関心を引き出すようにする。また、個に応じた対応を行う。</p> <p>○立体物の空間認識力の向上。 ・段階的に難易度を高めていく演習問題を作成して繰り返し行う。</p> <p>○目標、まとめを毎時間実施する。 ・授業の始めに目標を明確に提示する。授業の終わりには目標に対してのまとめとして自己評価を行う。</p>	<p>○生徒の興味関心を高めるための活動を実施する。 ・ICT機器をさらに活用してより具体的な資料の提示を行い、興味関心を引き出すようにする。また、個に応じた指導を行う。</p> <p>○実習に必要な技能と知識を身に付ける活動を実施。 ・知識が実習につながることを理解させるように、作業のポイントを振り返る時間を意識的に作り、確認をしながら取り組む。また、個に応じた指導を行う。</p> <p>○目標の掲示、まとめを毎時間実施する。 ・授業の始めに目標を明確に提示する。授業の終わりには目標に対してのまとめとして自己評価を行う。</p>	<p>○生徒の興味・関心を高めるための活動を実施する。 ・ICT機器をさらに活用してより具体的な資料の提示を行い、興味関心を引き出すようにする。また、個に応じた対応を行う。</p> <p>○実習に必要な技能と知識を身につける活動を実施。 ・知識が実習につながることを理解させるように、作業のポイントを振り返る時間を意識的に作り、確認をしながら取り組む。また、個に応じた指導を行う。</p> <p>○目標の掲示、まとめを毎時間実施する。 ・授業の始めに目標を明確に提示する。授業の終わりには目標に対してのまとめとして自己評価を行う。</p>
家庭	<p>○興味・関心を引き出す工夫を行う。 ・他教科との関連付けを意識させる。 ・生活に関わる身近なものを扱った題材設定をする。</p> <p>○家庭分野に関する知識の定着を図るための工夫を行う。 ・ワークシートの改善 ・題材毎に知識の定着を確認する機会をつくる。</p>	<p>○興味・関心を引き出す工夫を行う。 ・他教科との関連付けを意識させる。 ・生活に関わる身近なものを扱った題材設定をする。</p> <p>○見直しをもてる授業づくりをする。 ・授業の流れを掲示する。 ・教材の見直し ・写真や動画等の視覚教材を多く用いる。</p>	<p>○興味・関心を引き出す工夫を行う。 ・他教科との関連付けをさせる。 ・生活に関わる身近なものを扱った題材設定をする。</p> <p>○論理的に課題について考える習慣を身に付ける。 ・調べ学習や体験学習を取り入れる。 ・自分の考えを述べる際には、根拠・理由を重視する。</p>
外国語	<p>○一度教えた文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 ・単元を通した「めあて」と「まとめ」を毎授業で明示するスタイルを取り入れていく。</p>	<p>○一度教えた文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 ・単元を通した「めあて」と「まとめ」を毎授業で明示するスタイルを取り入れていく。</p> <p>○学習意欲の向上 ・1単位時間授業で、「めあて」となる内容をひとつに絞って個別に指導する。</p>	<p>○一度教えた文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 ・単元を通した「めあて」と「まとめ」を毎授業で明示するスタイルを取り入れていく。</p> <p>○学習意欲の向上 ・1単位時間授業で、「めあて」となる内容をひとつに絞って個別に指導する。</p>